

# 建設経済部 目標

## 【概要】

建設経済部は、都市政策課・建設課・商工観光課・農林水産課の4課で構成し、適正な土地利用の誘導、道路・橋りょう及び水路の管理・補修及び整備、市営住宅、農林水産業、商工業及び観光、労政に関する施策に取り組んでいます。

建設経済部の目標（令和2年度）	建設経済部長 庄司 優人
<b>【基本方向】</b> <p>市民生活や経済活動にとって重要な都市基盤の整備と維持管理を、効果的、効率的に行うことで、市民が今後も住み続けたいと感じられるような魅力あるまちづくりを推進します。</p> <p>自然環境を配慮した農林水産業と活気に満ちた商業や工業の発展を目指します。観光資源等を発掘し、市の魅力づくりに努めて参ります。</p>	
<b>【達成すべき目標】</b> <ol style="list-style-type: none"><li>1 国・県・関連市町村との連携 関係各機関への要望や調整会議等の開催、また各事業の課題に対する打ち合わせを密にし、各事業の着手予定が大幅に後退しないよう情報の共有を図ります。</li><li>2 部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立 部内の組織改変（鳥獣対策室新設）があったため、会議等を開催し情報共有を図ると共に、災害時やイベント時の部内応援体制など連携を図り取り組みます。</li><li>3 事業の計画的な実施 各事業の履行状況を定期的に確認し、計画的かつ効率的な事業の実施が図られるよう取り組みます。</li></ol>	<b>【目標の達成度】</b> <ol style="list-style-type: none"><li>1 国・県・関連市町村との連携 新型コロナウイルス感染症の影響により、要望活動や各種会議が縮小または、中止となったが、感染に注意を払い、必要に応じて関係機関等と情報共有を図りました。</li><li>2 部内、課内会議による情報の共有及び各課横断的な連携体制の確立 3カ月に1度の部内会議や随時部課長会議を行い、部内の情報共有を図り、必要に応じて部内横断的に対応しました。</li><li>3 事業の計画的な実施 3カ月ごとの部内会議において、各事業の進捗状況を確認するとともに、主要な事業について適宜確認を行っていましたが、入札の不調や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一部事業は、計画どおり進捗できませんでした。</li></ol>

# 都市政策課 目標

## 【概要】

都市政策課は、建設政策係・建設調査係・建築住宅係の3係13名で構成し、適正な土地利用の誘導、地籍調査、建築行政、市営住宅の管理に取り組んでいます。

都市政策課の目標（令和2年度）	都市政策課長 義崎 哲也
<b>【基本方向】</b> 都市公園、市営住宅等を適切に維持管理するとともに、公共建築物の営繕業務を適切に実施します。また、地籍調査事業をすすめ、都市計画、開発行為、建築等に関する情報を的確に提供し、まちづくりを推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b>  1 市民ふれあい公園施設長寿命化 施設の老朽化に伴い、計画的な施設の改修を行い利用者の安全や快適な利用のため、策定した施設長寿命化計画に基づき改修事業の推進を図ります。  2 地籍調査事業 地籍を明確にし、土地の有効利用を促進するため、適切な工程管理を行い、事業の進捗を図ります。  3 住宅耐震補助事業 地震に強いまちづくりを実現するため、耐震診断及び耐震改修等の必要性について、ホームページ等により情報提供等を積極的に行い、事業の執行に努めます。	<b>【目標の達成度】</b>  1 市民ふれあい公園長寿命化 公園長寿命化計画に基づき、令和3年度から施設の更新等の工事を実施するため、給水管布設工事実施設計業務を実施するとともに社会資本総合交付金に係る整備計画を作成し、国へ提出し、交付金について本要望を行いました。  2 地籍調査事業 西大和田の一部の区域 0.27k m <sup>2</sup> において、境界確認、測量工程を実施し、さらに同地域の一部の区域 0.50k m <sup>2</sup> において、地積測定、地籍簿作成、閲覧工程を実施し、事業の進捗を図りました。  3 住宅耐震補助事業 無料相談会を3回開催し、5件の個別相談があり、そのうち2件の耐震実地診断を実施しました。また、耐震改修工事を1件、併せて行うリフォーム工事補助も1件実施できました。

# 建設課 目標

## 【概要】

建設課は、管理補修係・用地係・建設係の3係16名で構成し、道路・河川・法定外の公共用財産・その他公共土木施設の整備・維持管理及び市道の認定、廃止、変更事務の業務に取り組んでいます。

建設課の目標（令和2年度）	建設課長 藤川 幸男
<b>【基本方向】</b> 利用者が安全・安心で快適に利用できるよう、道路・橋りょう等の適正な管理を行うと共に、より良い環境で利用できる道路・橋梁等の施設整備を効率的に行います。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 道路整備事業の計画的な実施 （下飯野線・小久保岩瀬線・浅間山線・湊富士見台線） 工事については、円滑な実施ができるよう地元区及び関係機関との調整を図り進めます。 用地については、下飯野線は地権者と交渉を進め取得します。浅間山線及び湊富士見台線は取得可能な用地から地権者と交渉を進めます。  2 各区長からの要望書等への対応 要望に対して、現地調査、関係部局との協議や打合せを実施し、早期に対応ができるよう連携を図ります。  3 橋梁長寿命化修繕事業の実施 （海岸橋） 市道海岸線が長期間通行止めとなることから地元及び関係機関と調整を図り、工事が円滑に実施できるよう進めます。	<b>【目標の達成度】</b> 1 道路整備事業の計画的な実施 工事について、小久保岩瀬線整備中、通行止めの周知に十分な時間が取れず、地元や利用者の方々にご迷惑をかけたしまいました。また、関係機関と調整についても円滑に行うことが出来ませんでした。 下飯野線、浅間山線、湊富士見台線については、地元区及び関係機関との調整を図り実施しました。 用地について、下飯野線は、地権者と協議が整い用地取得が終わりました。浅間山線は、用地取得が出来た箇所もあるが、令和3年度に概ね取得できる見込みとなっています。湊富士見台線は、新型コロナウイルス感染症の関係で境界立会等が遅れており、用地取得までには至っておりません。  2 各区長からの要望事項への対応 関係部局等との連携を図ることにより、概ね、早期の対応をすることができました。  3 橋梁長寿命化修繕事業の実施 市道海岸線の長期通行止めについて、地元及び関係機関との調整を図り、円滑に工事が実施することが出来ました。

4 地域排水整備事業の実施  
(二間塚地域排水整備事業)

工事については、地元区及び関係機関との調整を図り、円滑に工事ができるよう努め実施します。

また、次年度実施箇所についても、早期に発注できるよう準備を進めます。

4 地域排水整備事業の実施。

二間塚地域排水整備工事を実施するにあたり、事前に回覧や地元説明会を実施しました。

関係機関との調整について、円滑に進められず、年度内の完了が出来ませんでした。

# 商工観光課 目標

## 【概要】

商工観光課は、商工観光係の1係7名で構成し、商工業の振興や観光振興に係る主要な施策に取り組んでいます。

商工観光課の目標（令和2年度）	商工観光課長 嶋田 清一
<b>【基本方向】</b> 商工に関する振興施策や観光に関する振興施策を検討し、市の経済振興及び活性化に必要な事業を推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b> <ol style="list-style-type: none"><li>1 事業承継等に係る事業者支援の推進 経営者の抱える後継者問題や将来の事業継続の課題や、創業に関する課題など必要な情報・状況を把握し、商工会と連携して中小企業者をサポートします。</li><li>2 中小企業者に対する新型コロナウイルス感染症対策の実施 感染症の拡大に伴い、収入減少等の影響を受ける市内中小企業者を支援するため、市独自施策を構築するとともに、国及び県の施策を適切に周知及び案内することにより、事業者のニーズに応じた情報提供等を行います。</li><li>3 観光資源の魅力発信 市や観光協会のウェブサイトやSNSのみならず、旅行会社、マスメディア、高速道路・鉄道会社等と連携し、多様な情報媒体により効果的に市の魅力を発信します。</li></ol>	<b>【目標の達成度】</b> <ol style="list-style-type: none"><li>1 事業承継等に係る事業者支援の推進 新型コロナウイルス感染症により多くの事業者が売上減少等の打撃を受けていたため、経営力強化のためのセミナー開催や、商工会による個別相談の実施など、商工会と連携して中小企業者等の事業継続のためのサポートを行うことができました。</li><li>2 中小企業者に対する新型コロナウイルス感染症対策の実施 不要不急の外出自粛が続く中、地域経済の低迷により大きな打撃を受ける事業者に対し、市の独自支援策として5事業を実施するとともに、商工会と連携して国や県の支援事業の申請支援を行うことで、新型コロナウイルス感染症により苦慮する事業者のサポートを行うことができました。</li><li>3 観光資源の魅力発信 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う2度の緊急事態宣言発出等により、積極的に誘客を促進する情報発信はできなかったが、旅行会社が企画するオンラインツアーと連携するなどコロナ禍ならではの魅力発信をすることができました。</li></ol>

4 高宕山自然動物園の復旧と営業再開

令和元年台風第15号により被災した施設の復旧工事を実施することにより、飼養するニホンザルを適正に管理し、来園者が楽しめる安全面に配慮した施設の再建を目指します。

4 高宕山自然動物園の復旧と営業再開

高宕山自然動物園の災害復旧は進んでいるが、飼育するニホンザルの檻からの逸走防止や、野生に生息する特定外来生物アカゲザルとの交雑対策などについて、有識者との協議及び施設補強に期間を要しており、令和2年度中の営業再開は実現できませんでした。

# 農林水産課 目標

## 【概要】

農林水産課は、鳥獣対策室・農政係・水産係の1室2係14名で構成し、農業・水産業の振興、農業経営、農業の産業化、農山漁村の振興、農業・水産業施設整備及び維持管理に取り組んでいます。

農林水産課の目標（令和2年度）	農林水産課長 棟方 雅典
<b>【基本方向】</b> 農業・水産業の発展と農山漁村の振興及び農業・水産業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための事業を推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 農林水産業の多様な担い手の育成・確保 関係機関、団体と連携し、認定農業者等経営感覚に優れた農林漁業の担い手の育成・確保、法人化の促進及び新規就業者や他産業からの離職就業者への就業相談等の実施や農林漁業技術習得を促進し、担い手の増加を図ります。  2 漁港施設機能保全工事の実施 国の水産物供給基盤機能保全事業を活用し、平成29年度に策定した機能保全計画に基づき機能保全工事を実施します。	<b>【目標の達成度】</b> 1 農林水産業の多様な担い手の育成・確保 認定新規就農者が3名増加しました。現在も認定に向けての指導等は数名に対して行っています。  2 漁港施設機能保全工事の実施 水産物供給基盤機能保全計画に基づき、大貫漁港第6防砂堤（その2）の機能保全工事を実施しました。

# 鳥獣対策室 目標

## 【概要】

鳥獣対策室は、担務制4名で構成し、鳥獣による農林水産業の被害防止、林業の振興及び維持管理に取り組んでいます。

鳥獣対策室の目標（令和2年度）	鳥獣対策室長 松下 順一
<b>【基本方向】</b> 鳥獣による生活環境及び農作物への被害防止、林業の発展及び林業施設の維持管理を図るための事業を推進します。	
<b>【達成すべき目標】</b> 1 有害鳥獣対策 富津市有害鳥獣対策協議会による有害鳥獣捕獲事業、防止柵設置事業を支援するとともに、農作物被害対策を実施し、有害鳥獣の捕獲（イノシシ 4,000頭、サル 250頭、シカ 1,500頭、キョン50頭）及び侵入防止柵の設置（電気柵 1,413m、物理柵 23,811m）並びに捕獲わなの導入を行います。 生活環境への被害防止対策として、緊急時のパトロールを実施し市民の安全を図ります。	<b>【目標の達成度】</b> 1 有害鳥獣対策 捕獲頭数は、シカの捕獲頭数については目標を達成しました。イノシシ・サルについては前年度より2割程多く捕獲しました。 侵入防止柵については、電気柵1,413m、物理柵20,311mを整備した。 生活環境への被害防止対策として、緊急時のパトロールを実施するとともに、富津市安全安心メールによる注意喚起を迅速に行いました。